

富士河口湖町立 教育センターだより

No.12



平成 25 年 9 月 9 日 文責 高尾久美子

富士登山を経験して

9月2日（月）～20日（金）町役場

エントランスホールに、7月29日・30日に行われた町主催の富士登山の様子を町の先生方が展示しました。そこでは、町内の2800人の子どもたちが書いた横断幕や富士登山をした子どもたちの写真や文などを見ることができます。ぜひ、足を運んでください。

センターでは、富士登山をした28名の子どもたちの感想をまとめ、思い出作りとして文集を作成しています。

たくさんの子どもたちが、頂上に登った時の達成感でいっぱいだったことを綴っています。また、一日目の天候が悪かったにもかかわらず、それをプラスにとらえ「登山中の嵐が一番いい経験になった。」「強風でとても大変だった。岩ばかりで疲れた。でも、達成感があった。」「晴れの日では体験できない登山ができて、精神面が少し強くなった。」など書いています。特に一日目は、強風の中、厳しい岩場を登りきった達成感を味わうことができたと思います。

この他にも「近くで玉枝さんが、がんばれと声をかけてくれた。そのおかげで頑張って頂上まで登りきれた。」「少し雨が上がり景色を見ていたら、そこには大きな虹がかかっていた。それは今まで見たことがないほど大きくてきれいだった。」「強い風や雨の後には虹や河口湖が見えた。寒さの中で食べるラーメンや暖かい部屋に入った時はすごくうれしかった。」など苦しかったけれどもうれしかったことなども多く書かれています。

この経験を通しての富士山に対する思いを綴った文もたくさんありました。

「世界文化遺産に登録された富士山の麓に住んでいてこの山に誇りをもち、これからも美しい富士山でいられるように自分ができることを努力していこうと思った。」

「玉枝さんの70歳を過ぎても山に登る姿から私も何かに挑戦することを教えられた気がする。一緒に登った仲間にはとても感謝している。仲間の支えがあったから登れた。富士山は、改めてすごいところだと思った。見ている人、登っている人に感動や勇気を与えてくれる。自然をこれから守っていかなければならないと思った。積極的に清掃活動に参加したいと思う。このような経験を多くの人に知ってもらい実際に体験してほしい。この事業に参加できて本当に良かった。」

参加した子どもたち全員が良い経験をしたと語っています。富士登山に参加したくもおしくも抽選でもれた子どもたちもいますが、また来年度も行われると思いますのでチャンスを生かしてほしいと願っています。

